

歴史館だより

2024年7月

東村山ふるさと歴史館
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
Tel.042-396-3800 Fax042-396-7600

第77号

特集 市制施行60周年

東村山市は今年で市制施行から60年です。昭和39年（1964）4月に東村山町は東村山市になり、同年11月に村時代から続いた大字名を整理して13町が誕生しました。当時の人口（昭和39年5月時点）は66012人で、令和6年5月現在の人口151798人と比べると半分以下でした。この60年で東村山市の人口は増加し、街のようすも大きく変わりました。住宅や企業が増え、道路はアスファルトになり、店が変わり、乗っている車や人々の服装にも変化があります。本記事では、市制施行時の昭和39年を中心に昭和40年代までの東村山市の街のようすを記録した写真をご紹介します。掲載している写真の撮影を行ったのは当時の市役所職員で、広報課や産業振興課などが所持していました。現在は移管され、ふるさと歴史館が保管しています。



現・久米川商店会（昭和39年）

久米川駅南口の現・久米川商店会（久米川通り）を写している写真です。通りの入り口には「祝市制東村山市」の看板や提灯が飾られており、市制施行が祝われています。商店街の道はまだアスファルト舗装されていませんが、人々や車が行きかっており、賑やかなようすです。



東村山市役所（現・北庁舎）（昭和39年）

市役所の入り口に大きく「祝市制」と書かれています。当時の市役所庁舎は現在の北庁舎でした。この庁舎は昭和33年（1958）に建てられ、市政施行後も利用されます。しかし、人口増加に伴い事務も多くなったため、昭和47年（1972）に現在の地上6階の新庁舎が建てられました。北庁舎は令和6年度中に取り壊し予定です。



現・ショッピングプロムナード八坂（昭和39年）

道の作りは現在も当時の面影を残していますが、道路は舗装されておらず、店も現在と異なっています。また、写真の中央の道路を走るの三輪トラックです。廉価で機動性があり積載量もあるという特性があり、高度経済成長期に広く普及しました。